

分野 (領域)	専門基礎分野	科目名	病態生理学概論		
単位 (時間)	1 (15時間)	開講時期	1年次	2年次	3年次
講師	外部講師				
科目目標	1. 人体の構造および人体の各器官系統を知り、その働きの意味を理解する。 2. 健康に及ぼす病因と病変の特徴を理解する。				
<p><b>【講義内容】</b></p> <p>第1章：解剖生理学のための基礎知識  A. 形からみた人体 B. 素材からみた人体 C. 機能からみた人体</p> <p>第1部 病理学総論</p> <p>第1章 病理学で学ぶこと A. 看護と病理学 B. 病気の原因 C. 病気の分類と病理学の学び方  第2章 細胞・組織の障害と修復 A. 細胞の損傷と適応 B. 組織の修復と創傷治療  第3章 循環障害 A. 循環系の概要 B. 浮腫 (水腫) C. 充血とうっ血 D. 出血  E. 血栓症 F. 塞栓症 G. 虚血と梗塞 H. 側副循環による障害 I. ショック  J. 高血圧症 K. 播種性血管内凝固症候群 (DIC)  第4章 炎症と免疫, 移植と再生医療 A. 炎症とその分類 B. 免疫と免疫不全  C. アレルギーと自己免疫疾患 D. 移植と再生医療  第5章 小感染症 A. 感染と宿主の防御機構 B. おもな病原体と感染症 C. 感染症の治療と予防  第6章 代謝障害 A. 脂質代謝障害 B. タンパク質代謝障害 C. 糖尿病  D. そのほかの代謝障害  第7章 老化と死 A. 個体の老化と老年症候群 B. 加齢に伴う諸臓器の変化  C. 個体の死と終末期医療  第8章 先天異常と遺伝子異常 A. 遺伝の生物学 B. 先天異常 C. 遺伝子の異常と疾患  D. 先天異常・遺伝子異常の診断と治療  第9章 腫瘍 A. 腫瘍の定義と分類 B. 悪性腫瘍の広がりと影響 C. 腫瘍の発生病理  D. 腫瘍の診断と治療  E. 腫瘍の統計</p> <p>第2部 病理学各論</p> <p>第10章 循環器系の疾患 A. 血管の疾患 B. 心臓の疾患  第11章 血液・造血器系の疾患 A. 骨髄及び血液の疾患 B. リンパ系及び脾臓の疾患  第12章 呼吸器系の疾患 A. 鼻腔・咽頭・喉頭の疾患 B. 気管・気管支・肺の疾患  C. 胸膜と縦隔の疾患  第13章 消化器系の疾患 A. 口腔・食道の疾患 B. 胃の疾患 C. 腸・腹膜の疾患  D. 肝臓・胆管・胆嚢の疾患 E. 脾臓の疾患  第14章 腎・泌尿器・生殖器系及び乳腺の疾患 A. 胃・泌尿器の疾患 B. 生殖器系の疾患  C. 乳腺の疾患  第15章 内分泌系の疾患 A. ホルモンとホメオスタシス B. 内分泌器官の疾患  第16章 脳・神経・筋肉系の疾患 A. 脳・神経系の疾患 B. 筋肉系の疾患  第17章 骨・関節系の疾患  第18章 眼・耳・皮膚の疾患 A. 眼・耳の疾患 B. 皮膚の疾患</p>					
<p><b>【テキスト／参考文献】</b></p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 第1章  系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 第1章～第8章</p>					
<p><b>【評価】</b></p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>					